

地域の皆様へ

# 春 蘭 夢と学び

No. 29

平成29年2月15日(水)

発行：本宮市立岩根小学校  
文責 校長 佐藤 勇人

## 大人の役割

地域・保護者の皆様には、日頃本校教育活動のために大変お世話になりありがとうございます。3学期も半ばとなり、6年生は各プロジェクトで卒業に向けての取り組みを進めているところです。2学期末のコンサートや子ども祭りでは、“さすが6年生”という演奏やアイデア溢れる催しなどを行ってくれ、感心させられました。正に「下級生の憧れの存在」と言ったところでしょうか・・・。6年生には、この学校で学んだことを誇りに、希望を持って中学校生活をスタートしてほしいと思っています。

他の学年も1年間のまとめをする大切な時期です。その学年の学習内容はもちろん、今身につけるべき基本的な生活習慣をしっかりと身につけて、“こんなことができるようになったよ”と胸を張って、修了式を迎えてほしいと思います。

まだまだ寒さの厳しい日々が続いていますが、草木は、春に向けて着々と準備を進めています。子どもたちが大きくなった時代は、どんな世界が待っているのでしょうか。

めまぐるしく社会が大きく変化する中、子どもたちがこれから生きていく社会は、何が待っているのかわかりません。先行き不透明な時代だからこそ、子どもたちには、ぜひタフな(心身ともに頑丈な)生き方のできる人に育ててほしいと願っています。

そのためには一人や二人ではなく、大人総ぐるみで子育てに取り組む姿勢が大切だと思います。もちろん親がわが子に教えるべきことはたくさんありますが、子どもたちが成長するするにつれ、親ではなくむしろ他人に教わることがたくさんあります。何よりも将来の自立に向け、誰もがすべきことをきちんとできるようになることが大切だと思います。

また、子どもの成長には、大人の妥協しない姿勢も大切ではないでしょうか。子どもの人格を尊重したうえで、まわりの大人の持つ人生経験や知恵を生かした関わりがとても大切だと感じます。人間は、人とのふれあいによって安心感が生まれ、人を受容しようとする広い心が生まれるのだと思います。それが、叱ってくれた人に素直に「ありがとう」と言えることにつながります。

子どもたちには、縦にも横にも幅広い、容量の大きな人間になってほしいと願っています。そのためにも、自分の子どもだけをみるのではなく、よその子どもにも関わる気持ちを大人自身が持たねばなりません。子どもの成長に大人の役割は大きいと思います。大人がしっかりスクラムを組んで子どもを育てていく覚悟が必要だと感じています。



## 歴代PTA会長副会長会総会 が開かれました ～2月5日

2月5日(日)午前10時30分から、ホテル華の湯にて第38回岩根小学校歴代PTA会長副会長総会及び懇親会が行われました。

今年度は23名の参加があり、総会では、まず、会長、現PTA会長、現校長、歴代代表校長の挨拶があり、その後事業報告と会計決算報告等が行われました。

その後、懇親会を開催しましたが、伝統ある岩根小学校のなつかしい出来事などが語られ、あっという間に時間が過ぎました。

会を通じて、ひと言ひと言に、岩根小学校への愛着と学校やPTAへの励ましの気持ちが込められました。本校は創立143年の伝統校です。「今後も、先輩や地域の皆様の熱い思いに応えられるよう頑張っていかなければならない」という決意を新たにしました。



## 春蘭学級が児童作品展を見学 ～1月20日

1月20日(金)、春蘭学級の子どもたちと担任、保護者の方々が作品展を見学にて二本松市民交流センターに行ってきました。会場では、安達地区内の児童の力作が展示され、子どもたちは感心して作品に見入っていました。これからの作品作りのヒントにもなったようです。

鑑賞後には、みんないっしょにファミリーレストランで昼食をとってきました。(とてもおいしかったことでしょう！)

みんなの思い出に残るよい一日になりました！

